

# 平成26年度業務計画書

## I. 業務の内容

### 1. 業務の題目

「伝える」科学コミュニケーションに関する基礎調査

### 2. 担当フェロー

渡辺 政隆

内田 麻理香（アソシエイトフェロー）

### 3. 業務の目的

科学コミュニケーションセンターの一連の活動を戦略的に行うため、主として「伝える」科学コミュニケーションについて、全体を俯瞰して課題を抽出し、既存事業の見直し、新規事業、課題研究のテーマ等について提案を行う。

上記の分析結果を踏まえ、わが国が推進すべき具体的な科学コミュニケーションの方策について検討・試行する。

### 4. 当該年度における成果の目標及び業務の方法

#### ①科学コミュニケーションの全国的ネットワークの構築

- a. 地域コミュニティに科学コミュニケーター（SC）を根付かせるための支援方策の検討
  - ・全国の科学館、コミュニケーターが実施している活動を調べ、理科教育支援員としてのコミュニケーターから、地域の科学リテラシー涵養、地域の科学技術と社会の問題コーディネーターとしてのSCへの質の拡大・転換方策の可能性を検討する。
- b. イベント、フェスティバルのノウハウを共有するための方策の検討
  - ・各地の科学フェスティバル間のノウハウ共有システムを検討する。
- c. 他のフェローの業務との連携
  - ・多様なアクター間でのノウハウ交換を促進する機会を設け、システムの提案を行う。

#### ②「ミドルレンジメディア」をキーワードとした市民が必要とする情報流通方式の検討

- a. ミドルレンジメディアの設計と検討
- b. 国立大学のセンター・オブ・コミュニティ（COC）事業に地域メディアーターの育成、ミドルレンジメディアのセカンドオピニオン機能を組み込むためのシステム設計
- c. ミドルレンジメディア中間報告書のとりまとめ

#### ③「伝える」科学コミュニケーション俯瞰のための調査

- ・国内で実践されている「伝える」科学コミュニケーションの実像をできるだけ定量的に把握、具体的な実施事例を収集・分析し、既存事業の見直し、新規事業、課題研究テーマ等の提案を行う。